

NPO法人マツト荒川プロジェクトの主催する「荒川いかだ下り」に熊谷青年会議所のメンバーの始めとする15名の方が、ボランティアスタッフとして参加しました。

荒川いかだ下りは、今年で第19回目の開催で、参加者は各自手作りのいかだを持ちより、寄居町を流れる荒川を2kmほど下ります。

激流と呼んでも過言ではない流れを安全に下るためには、ボランティアスタッフによる誘導や補助が欠かせないものとなっています。

今年は川の水量が少なく、流れが緩いため、川の流れに淀みが出来ていました。その淀みにいかだが捕まると自力で抜け出すことは困難になってしまいます。そのためボランティアスタッフの補助はより一層欠かせないものとなりました。

ボランティアスタッフの方々は、荒川から見る寄居町の素晴らしい景色を、少しでも多くの方々に知ってもらおうという心意気の下で団結し、安全な大会を影から支えていました。



取材日時：平成24年8月19日（日）10:00～

取材場所：寄居町 荒川河川敷